

新型コロナウイルスワクチン接種について

集団接種の実施について

町公民館において、60歳以上の方、または18歳以上で基礎疾患等がある方を対象に接種を行います。事前に日程が決定されている方、予約をした方は忘れずにご来場ください。これから予約を希望する方は下記コールセンターまでお問い合わせください。

また、3回目までの接種を完了していない12歳以上の方も接種を受けることができます。詳しくは7月上旬に回覧したチラシをご覧ください。コールセンターまでお問い合わせください。

【集団接種の日程】(モデルナまたはファイザー)

①7月29日(金)～8月1日(月) ②8月4日(木)～7日(日) ③8月27日(土)～28日(日) ④9月17日(土)～18日(日)

*武田社ワクチン(ノババックスワクチン)の接種について

1～3回目接種用のワクチンとして、ノババックスワクチンの接種を集団接種及び個別接種により開始します。詳しくは7月上旬に回覧したチラシをご覧ください。コールセンターまでお問い合わせください。

【集団接種の日程】(ノババックス) 9月18日(日)

◆鏡石町のワクチン接種率(令和4年7月19日現在)

区分	人数	接種人数(接種率)					
		1回目	2回目	3回目			
65歳以上	3,595	3,418	95.1%	3,414	95.0%	3,291	91.5%
65歳未満	8,546	7,151	83.7%	7,114	83.2%	5,298	62.0%
対象者(5歳以上)	12,141	10,569	87.1%	10,528	86.7%	8,589	70.7%
全住民	12,611	10,569	83.8%	10,528	83.5%	8,589	68.1%

※対象者数は令和4年1月1日現在の住民基本台帳による。

●問い合わせ先

- ワクチン接種の予約に関すること 鏡石町コールセンター ☎0120-006-873(フリーダイヤル)
- ワクチン接種に関する一般的なこと 健康環境課 ☎62-2115

鏡石町健康福祉センター

建設工事が進行中!

東町地内に令和5年中の完成を目指す「鏡石町健康福祉センター」の建設工事が着々と進んでいます。

工事の進捗状況は7月上旬時点で全体の約20%となっており、現在は鉄骨柱の組み立てを行っています。今後も広報かがみいしにて進捗状況をお知らせしていきますので、続報をお待ちください!



工事が進む建設現場



施設の完成イメージ

施設の名前は…

「ほがら館」に決定!

公募を行っていた健康福祉センターの愛称がこの度「ほがら館」に決定しました!

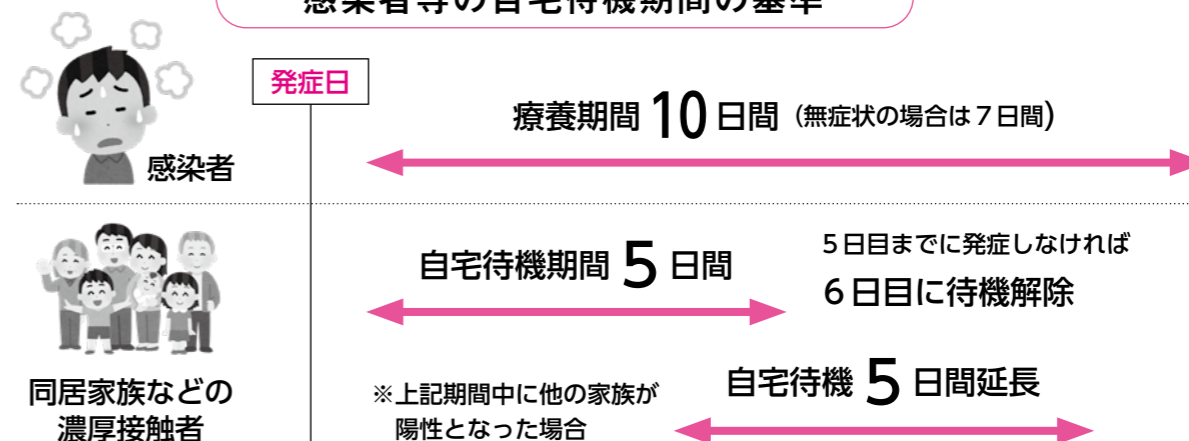
190件の応募の中から選ばれた「ほがら館」には、みんなが健康で、毎日を朗らかに笑顔で暮らせるようにとの願いが込められています。今後、ロゴマークなども作成していく予定です。

●問い合わせ先 福祉こども課 ☎62-2210

新型コロナウイルス感染症に感染した場合の療養期間・自宅待機期間について

新型コロナウイルス感染症に感染した場合、ほとんどの方が自宅で療養していただくこととなりますが、**そのご家族の方についても、原則として自宅待機をお願いしています。**

感染者等の自宅待機期間の基準



*同居家族等の自宅待機期間は、住居内で感染者(陽性者)との接触をしなくなった日の次の日から1日目としてカウントします。

*同居家族内で別の家族が発症した場合は、次の日から1日目としてカウントします。

*濃厚接触者について、自宅待機2日目と3日目に抗原定性検査キットを用いた検査で陰性が確認された場合は、3日目から待機解除となります。

具体的な事例

①子どもが感染したケース

- 子ども ⇒ 学校は出席停止(原則10日間)
- その他の家族 ⇒ 自宅待機(5日間)

②配偶者(夫・妻)が感染したケース

- 感染者本人 ⇒ 会社等は出勤不可(原則10日間)
- 配偶者 ⇒ 出勤不可(5日間)
- その他の家族 ⇒ 濃厚接触者となった方は出勤不可、出席停止

③祖父母が感染したケース

- 感染者本人 ⇒ 自宅療養(高齢者は重症化するリスクが高い)
- その他の家族 ⇒ 濃厚接触者となった方は出勤不可、出席停止

家族のうち一人の方が感染すると、家族全員が長期間の自宅待機を強いられることになり、皆さんに大きな負担がかかることとなります。ワクチン接種をはじめとした感染対策について、改めてご確認をお願いします。

また、新型コロナウイルスはとても強い感染力を持っています。どれだけ注意しても感染する可能性をゼロにすることはできません。感染した方への誹謗中傷や差別的行為は絶対にやめましょう。

～実際に新型コロナウイルス感染症に感染した方の話～



はじめに子どもが感染し、一週間後に別の子どもが、その一週間後に私自身が感染したことから、結果として3週間ほど自宅療養期間を過ごしました。感染を完全に防ぐことは難しいですが、普段の感染対策や、家庭内での感染予防が重要であると再認識しました。